

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教 科： 地理歴史 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組
教科担当者：（ABCDEF組：鈴木淳士）
使用教科書：（ 新地理総合（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）、最新地理図表GEO（第一学習社） ）
教科 地理歴史 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】○現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】○地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】○地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理的な見方・考え方や、地図やGISの活用をはじめとする地理的スキルを身につける。	身の回りのさまざまな社会問題や地理的事象を、自らの手で考察できるようにする。	平和で民主的な社会を切り拓く総合力を培い、持続可能な社会づくりに向け主体的に行動できるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	第1部 地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地理情報について、地図やGISなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基本的なスキルを身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図やGISについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	第1章 地図と地理情報システム 1 節 地球上の位置と時差 1 地球上の位置と私たちの生活 2 時差と私たちの生活 2 節 地図の役割と種類 1 地球儀と地図 2 身の回りの地図 3 統計地図の種類と利用 4 地理情報システム（GIS）の利用	【知識・技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図やGISの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図やGISなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的なスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図やGISについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図やGISについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	5
	第1部 地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	第2章 結びつきを深める現代世界 1 節 現代世界の国家と領域 1 現代世界の国家 2 日本の位置や領域 2 節 グローバル化する世界 1 国家間の結び付き 2 貿易によって結びつく世界 3 さまざまな交通網の発達 4 世界を結ぶ通信網の発達 5 観光のグローバル化指導事項	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第2部 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	第1章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 1 生活文化を考察する方法 1 節 世界の地形と人々の生活 1 大地形と人々の生活 2 変動帯と人々の生活 3 安定地域と人々の生活 4 河川がつくる地形と人々の生活 5 海岸の地形と人々の生活 6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 2 節 世界の気候と人々の生活 1 気温・降水と人々の生活 2 大気循環と人々の生活 3 世界の植生と気候区分 4 熱帯の生活 5 乾燥帯の生活 6 温帯の生活 7 亜寒帯・寒帯の生活 ※モンスーンの影響を受ける地域での生活 -東南アジア- 3 節 世界の言語・宗教と人々の生活 1 世界の言語と人々の生活文化 2 世界の宗教と人々の生活文化 ※イスラームと人々の生活の関わり -中央・西アジア・北アフリカ- ※インドの歩みとヒンドゥー教 1 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活 2 変化するヒンドゥー教徒の生活	【知識・技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第2部 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	4 節 歴史的背景と人々の生活 1 歴史的背景が人々の生活に与える影響 ※植民地支配の歴史と人々の生活の関	【知識・技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化				

2 学 期	響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 世界の人の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	わりーサハラ以南アフリカー 5節 世界の産業と人々の生活 1 人々の生活を支える農業の発展 2 人々の生活を支える工業の発展 3 グローバル化する現代の産業と人々の生活 ※地域統合が人々の生活や産業に与える影響ーヨーロッパー	によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	第2部 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界各地で見られる地球環境問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 世界各地で見られる地球環境問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 世界各地で見られる地球環境問題などの地球的課題について、地域結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 1 相互に関連する地球的課題とその解決に向けて 2節 地球環境問題 1 多様な地球環境問題 2 熱帯林の破壊への対策 3 地球温暖化への対策	【知識・技能】 世界各地でみられる地球環境問題を基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題を基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球環境問題などの地球的課題について、地域結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第2部 国際理解と国際協力 【知識及び技能】 世界各地で見られる資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 世界各地で見られる資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 世界各地で見られる資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	3節 資源・エネルギー問題 1 世界のエネルギー・鉱産資源 2 エネルギー利用の現状と課題 3 地域で異なるエネルギー問題への取り組み 4節 人口問題 1 世界の人口 2 発展途上国と先進国の人口問題 3 地域で異なる人口問題への取り組み 5節 食料問題 1 飢餓と飽食 2 地域で異なる食料問題への取り組み 6節 都市・居住問題 1 世界の都市の発展 2 発展途上国と先進国の都市・居住問題 3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み	【知識・技能】 世界各地でみられる資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界各地でみられる資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8

[illegible]